

# 令和3年度 第4回理事会議事録

開催日：令和3年8月14日（土）

時間：10：00～12：12

場所：ZoomによるWeb会議

出席：真田、松田、佐藤、綿貫、竹川、狩野、大崎、安部、藤原、池本、澁谷、住ノ江、森、井関、藤田、湊、菊口、千田、南、中町参与、東塚監事、笠舞監事

欠席者：矢野

理事19名の出席により会議は有効裡に開催された（現在の理事数20名）。

なお、開催前に出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることを確認している。

議事録署名人の選出：真田浩一、東塚監事、笠舞監事を選出した。

議事録作成：南

## I. 会長報告（報告者：真田会長）

### 【報告事項】

#### 1. 日臨技近畿支部関連

なし

#### 2. 兵臨技関連

1) 6月12日（土）令和3年度定時総会 出席

2) 6月23日（水）令和3年度第1回西播地区会議（Web開催）出席

3) 6月27日（日）第41回丹但地区研究発表会（ハイブリッド開催）出席

4) 7月1日（木）学術部会（Web開催）出席

5) 7月9日（金）令和3年度第1回兵庫県合同輸血療法委員会（Web開催）出席

6) 7月25日（日）第38回西播地区研究発表会（ハイブリッド開催）出席

7) 8月5日（木）学術部会（Web開催）出席

8) Zoomについて

→10月より新契約開始。直接契約で500名までのウェビナーも追加契約。

9) 臨床検査技師によるワクチン接種について

→神戸市では実技研修を行っているが、他市町村や兵庫県としては行われていない。

10) 兵庫県自民党議員との意見交換会について（9/9または9/10開催）

→臨床検査技師によるワクチン接種の状況を報告予定

#### 【審議事項】

1. 複十字シールおよびがん寄附金の依頼について  
→それぞれ1か月程度時期をずらして、HPへのUPと一斉メール送信することで承認
2. 都道府県災害連絡責任者の選出について  
→人選は会長に一任することで承認
3. 令和3年度兵庫県公衆衛生協会会長表彰の推薦について  
→兵庫県立がんセンターの秋篠 範子会員を推薦することで承認
4. タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会について  
→近畿支部の研修会に真田、綿貫、佐藤、澁谷、大崎、松田、住ノ江、森、安部の9名の理事が参加することで承認
5. 臨床検査技師学校養成所指定規則の改正について  
→臨地実習指導者講習会に兵庫県より神戸大学医学部附属病院の大沼会員・兵庫医科大学病院の池本会員が参加することで承認

#### II. 日臨技報告（報告者：綿貫副会長）

##### 【報告事項】

1. コロナワクチン接種の座学 7/10 時点で約 6,000 名、実技研修修了者約 540 名
2. 昨年度の日臨技への入会者 1,500 人（例年 3,000 名）と減少
3. 8/8 に日臨技事務所でタスクシフトシミュレーション研修会開催、各支部より 3 名参加。研修内容をビデオ撮影行い、各県の参考資料にする。コロナ感染増加のため兵庫は参加できず。
4. 近畿支部のタスクシフト研修会は 9/5、森ノ宮医療大学で開催。兵庫県の参加者はタスクシフトチーム 5 名の予定が 4 名追加で 9 名に変更。参加費 1 万円が 15,000 円になる見込み。
5. 臨地実習指導者講習会、各病院 1 名程度、全国で 1,200 名程度の予定。Web と Zoom を併用、グループ学習を行う。先だって各県 1 名、世話人講習会を 10 月に行う。参加費 3,000 円

##### 【審議事項】

なし

#### III. 業務執行報告

（報告者：松田副会長、佐藤副会長、綿貫副会長、南事務局長、竹川経理部長）  
業務執行理事による業務執行状況報告を行った。

#### IV. 部局報告と審議

＜事務局＞（報告者：南事務局長）

##### 【報告事項】

1. 厚労省より「新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種のための筋肉内注射の臨床検査技師、救急救命士による実施のための研修について」
2. 兵庫県健康増進課より「兵庫県公衆衛生協会団体会費の納入とメールアドレス登録の依頼」について→事務所にて対応済み
3. 派遣会社より事務職員の採用について→7月26日より1名勤務開始
4. 健康ひょうご21県民運動推進会議より「令和3年度健康ひょうご21県民運動推進会議総会（会長専決）」について
5. 厚労省より「新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの迅速な接種のための体制確保に係る医療法上の臨時的な取扱いについて（その4）」
6. 西宮市保健所より、精度管理専門委員の推薦について（依頼）  
→県立がんセンターの幸福 淳子会員を推薦
7. 兵庫県保険医協会より、第53回総会決議の報告
8. 兵庫県公衆衛生協会より「令和3年度兵庫県公衆衛生協会中央研究会における演題および演題原稿の募集」について→HPにUP済み（6/30）
9. 公益法人 Information に令和2年度事業報告書等の提出（6/28）  
→7/23に補正依頼後、再申請済み
10. 姫路市保健所より、令和3年度姫路市衛生検査所精度管理専門委員の推薦について→県立がんセンターの幸福 淳子会員を推薦
11. 日臨技より、5月・6月締め分の会費および生涯教育推進研修会の送金について
12. 令和3年度兵庫県自治賞被表彰候補者（神戸地区）の推薦について  
→該当者なし
13. 厚労省より「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の区域変更等に伴う周知」について
14. 厚労省より「催物の開催に係る事前相談等の際のフォーマット等」について
15. 糖尿病療養指導士兵庫県連合会より「糖尿病教育セミナー2021」の案内  
→7月の定期発送および一斉メール送信済み
16. 兵臨技のみ会員および賛助会員の会費未納について  
→会費納入お願いの案内を送付済み
17. 日臨技より「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き（第5.1版）について」、および「新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その50）」
18. 日臨技より「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」の公布について
19. 厚労省より、臨床検査技師等に関する法律施行令の一部を改正する政令等の

公布について

20. 日臨技より、第 71 回日本医学検査学会バナーリンクの依頼  
→HP にバナーリンク済み
21. 日臨技より、令和 3 年度定時総会議決権行使における回収手数料の送金について
22. 日臨技より、都道府県災害連絡責任者の選任について→調整中（8/31 締切）
23. 厚労省より、令和 3 年度立入検査実施通知について
24. 厚労省より「医療広告規制におけるウェブサイトの事例解説書」について
25. 厚労省より「医療事故の再発防止に向けた提言第 14 号の公表」について
26. 厚労省より、電波環境協議会による「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き（改訂版）」（令和 3 年 7 月）について

#### 【審議事項】

1. 日本睡眠検査学会より、第 2 回学術集会の後援依頼について  
→承認
2. 第 50 回「医療功労賞」候補者の推薦について  
9/15 締切、H23 に春名久美子会員が受賞してから推薦なし  
→候補者がいれば事務局長まで
3. ピンクリボンひめじより「世界遺産姫路城ピンクリボンライトアップ及び啓発イベント」の後援依頼について  
→承認
4. 日臨技より、臨床検査技師学校養成所指定規則の一部を改正する省令案に関する御意見の募集について  
・今回改正される省令案で必ず見学させる行為として、運動誘発電位検査や体性感覚誘発電位検査、消化管内視鏡検査とあるが、臨地実習受け入れ施設の現状から可能なのか。（大崎組織部長）  
→運動誘発電位検査や体性感覚誘発電位検査を定期的に行っている施設は少なく、また実施場所が手術室であることや患者や家族の同意を得ることが容易ではないため、見学を必須条件とすると受け入れ施設が限定されることが危惧される。  
→検査見学の義務化は難しいことを、個人でパブリックコメントに inputs し、多くの意見を集める方向で進める。
5. 日臨技「認知症ワーキンググループ」より、都道府県技師会における認知症予防啓発活動の実施について（R3.9 月の 1 か月間）  
→事務所のオレンジのライトアップは実施困難であるが、HP の修正については、日臨技のアイコン挿入は可能で、背景のオレンジ化は技術的に可能なら実施する。  
→認知症予防啓発活動の提案に賛同することで承認

<総務部>（報告者：池本総務部長）

【報告事項】

1. 会員数（月末集計）

	会員数	会員数内訳			年会費入金内訳		
		継続	新規	兵臨技のみ	入金済 (うち送金待)	免除	未入金
令和2年度	2342						
R3年5月	2353	2251	99	146	2229 (22)	17	104
R3年6月	2365	2247	118	143	2250 (7)	18	97
R3年7月	2377	2245	132	142	2261 (4)	21	95

	施設数			会員数		
	R3年5月	R3年6月	R3年7月	R3年5月	R3年6月	R3年7月
神戸地区	125	125	125	910	910	915 ↑
阪神地区	65	65	65	500	506	511 ↑
丹但地区	13	13	13	101	102	102
東播地区	49	49	49	437	438	439 ↑
西播地区	47	49	49	387	393	394 ↑
その他				16	16	16
合計	299	301	301	2351	2365	2377 ↑

【審議事項】

1. 入会、退会

- 1) 賛助会員入会：なし
- 2) 賛助会員退会：なし
- 3) 会員入会：5月43名、6月19名、7月14名
- 4) 会員退会：5月8名、6月4名、7月2名  
→承認

<経理部>（報告者：竹川経理部長）

【報告事項】

1. 予算管理月報について 7月末日
2. G表について 7月末日
3. 広告状況について 7月末日

【審議事項】

1. 研修会場のノート PC 購入について

今後 2 台のノート PC を更新する必要がある。今年度と来年度で 1 台ずつ購入をするか、今年度で 2 台を購入するかの審議を願いたい。また、オフィス搭載機を購入するよりも、オフィスソフト、セキュリティソフトは別途購入し、2 台分を使えるようにする方が安価になる。

→管理台帳を作成し、PC の廃棄などがわかるようにすべきではないか。

(松田副会長、真田会長)

→PC の使用管理も今後検討する必要があるのではないかと (綿貫副会長)

→今年度 PC を 2 台購入でオフィスソフト、セキュリティソフトは別途購入すること、また管理台帳を作成することで承認。PC の使用管理については、継続審議とする。

<渉外部> (報告者：安部渉外部長)

【報告事項】

1. 兵庫県臨床検査技師会・登録フォームより、会員外の臨床検査技師からの問い合わせについて
2. メディカルスタッフ体感 Web セミナーの開催について  
当会として、昨年同様の日臨技作製動画を配信予定。(全団体のノベルティをセットしたプレゼントを 300 個準備する方向で検討中)

【審議事項】

1. 兵庫県臨床検査技師会災害対策マニュアル(案)について  
日臨技災対マニュアル改訂版が執行理事会で通過した為、兵臨技災対マニュアル(案)を作成した。  
8,10 月の理事会で内容を詰め、12 月で制定する方向で進めたい。意見・指摘等については各理事会前月末日までをお願いしたい。
  - ・役割分担について
  - ・マニュアル内〇〇〇、△△△、□□□について
  - ・赤字部分の追記内容について
  - ・マニュアル内容そのものについて→災对本部の第二、第三設置場所については過去に理事会で審議しているので議事録を確認して検討する。
2. 兵庫県臨床検査技師連絡網の整備 (メールアドレス, LINE など)
  - ・非常時を想定し、主連絡網の整備に加えて副連絡網も考慮
  - ・個人情報もあり、どの範囲までするかを検討→組織部で連絡網を作成済みなので活用してはどうか (松田副会長)  
→大崎組織部長と安部渉外部長で調整

<組織部>（報告者：大崎組織部長、森理事）

【報告事項】

1. 第41回丹但地区研究発表会 ハイブリッド（朝来医療センター+Zoom）  
令和3年6月27日（日）10:00～12:00  
報告書（資料07-01）
2. 第38回西播地区研究発表会 ハイブリッド（あすかホール+Zoom）  
令和3年7月25日（日）10:00～12:40  
報告書（資料07-02）
3. 第1回東播地区ナイトセミナー Zoom  
令和3年7月28日（水）18:30～20:00  
報告書（資料07-03）

【審議事項】

1. 第30回東播地区研究発表会（Zoomまたはハイブリッド）  
令和3年12月18日（土）10:00～12:00  
計画案（資料07-04）  
→今後のハイブリッド開催に向けて、機材をそろえる必要がある。（森理事）  
→住ノ江部長に機材の洗い出しをしてもらい、次回理事会で審議する。  
→開催に関しては承認
2. 令和3年度 新人研修会について  
→湊理事より、インシデント事例のグループディスカッションをしてはどうかと提案があり検討中。10月か11月頃の開催に向けて準備中。  
（大崎組織部長）  
→兵庫県学会で新人向けの研修をする案が出ているので、學術部とジョイントするのはどうか。（真田会長）  
→新人研修会の開催に関して承認

<広報部>（報告者：住ノ江広報部長）

【報告事項】

1. ホームページ（HP）への新規および更新掲載。
2. 広報会議
  - ・開催なし
  - ・8月5日 學術会議（ピーテックスの運用説明）
3. 研修会の集金運用について
  - ・ピーテックス、パスマーケットの比較

→手数料はパスマーケットの方が安価だが、運用はピーテックスの方が事務所の負担が少なく、ZoomのURLの流出がないため便利と思われる。

- ・セキュリティ資料
- 個人情報の流出は両社とも同程度あるが、クレジットカード情報の流出は報告されていない。
- ピーテックスを使用する方向で運用を詰めていく。

#### 【審議事項】

1. HYOGO ニュース 発行部数について
  - ・現在の発行部数は 1,000 部であるが、毎回不足している。また事務所より、施設への配布を 2 部から 1 部に減らすことは可能かという意見もあり。

→施設への配布は一旦現行どおりで継続審議とする。

→発行部数は 1,100 部に増やすことで承認
2. デモ研修会（参加費有料）の試験運用について
  - 学術（病理研究班）より、有料の研修会にピーテックスを使用した運用案が出ている。実際に 8 月中にデモ研修会を行い、確認が必要。

→デモ研修会の開催に関して承認

#### <学術部>（報告者：藤原学術部長）

#### 【報告事項】

1. 学術部会（Web 形式）開催報告
  - 1) R3 年度の研修会開催予定
  - 2) 兵庫県医学検査学会開催日を学術部として決定（令和 4 年 2 月 27 日）
  - 3) ピーテックスについて

#### 【審議事項】

1. 学会の日程について
  - アンケート結果と学術班長の予定を中心に上記に決定

→開催日を R4.2.27 で承認
2. 研修会でのピーテックスの運用開始について
  - いつから有料にするのか決める必要がある。（松田副会長）
  - ピーテックスの運用開始のお知らせにキャンセルの扱いや、個人情報の流出に関しての技師会の立場、有料の開始日などを明記する必要がある。（住ノ江広報部長）

→Web 開催で研修会の会費を徴収すると収入の増加が見込まれる。公益社団法人なので収支をゼロにする対策が必要。（中町参与）

→ピーテックスの運用方法を学術部で検討して、再度理事会で審議する。次回理事会までに審議が必要であればメール審議も活用する。



<精度管理事業部>（報告者：狩野精度管理事業部長）

【報告事項】

1. 令和3年度第41回兵臨技精度管理調査の申込状況（R3.8.3～9.14）  
8月7日現在申込施設数65、新規の新型コロナウイルス遺伝子検査34施設
2. 令和3年度第41回兵臨技精度管理調査の精度管理委員・解析委員  
昨年度63名に遺伝子検査担当として1名追加し、計64名となった。
3. 試料の準備、発送は今年度も神戸大学病院の協力の下、実施予定。  
（採血時の医師の立ち合い、輸血試料の準備、試料発送の準備など）
4. 新型コロナウイルス遺伝子の精度管理調査試料について  
検査試薬・検査機器が多岐にわたるため、申込確定後、参加施設に対して使用  
機器試薬の調査を行った上で、配布試料および手順を検討して対応する予定。

【審議事項】

なし

<公益事業部>（報告者：澁谷公益事業部長）

【報告事項】

1. 令和3年度ふれあいの祭典 ふれあいフェスティバル in 神戸「健康福祉まつり」への参加申し込みについて（締め切り：令和3年7月2日）  
日時：令和3年10月16日（土）、17日（日）  
会場：メリケンパーク  
※新型コロナウイルス感染症の感染状況などで、状況は変わる可能性がある。  
今年度は、展示を中心に行う予定。

【審議事項】




なし

●次回理事会（Web開催）

令和3年度 第5回理事会

令和3年10月9日（土）10:00～

この議事録が正確であることを証するため、議長並びに議事録署名人が署名捺印する。

議長	真田 浩一	
議事録署名人	東塚 伸一	
議事録署名人	立 斎 和 宏	

## 事業報告書

事業部局・責任者	組織部 大崎 博之
事業名	令和3年度 第41回丹但地区研究発表会
企画担当者	井関 進也
運営責任者	大崎 博之
開催日時	令和3年6月27日 午前10時00分～午後0時00分
開催場所	朝来医療センター 4F会議室 + Web開催(Zoom)
内容 プログラム テーマ 講師 司会者等	研究発表 10:00～11:30 一般演題(7演題) 11:30～12:00 特別演題(1演題)
参加者数	70名(会場参加:22名、Web参加:48名) ※賛助会員3名含む
実務委員	9名(西本、加藤、田村、上月、白箸、和田、岡坂、足立、井関)
運営状況・感想 意見	<p>兵臨技初の試みとして会場とWebのハイブリッド研究発表会を開催した。</p> <p>座長、一般演題演者、共同演者の代表者、スタッフのみ会場へ参集し、特別演題演者と一般参加者はWebで参加していただいた。会場では参加者にマスク等の感染予防対策を徹底した上でアクリル板を設置し、座長と演者のみマスクを外した状態で、従来の口演形式と同様に進行した。WebではZoomを使用し、座長と演者をカメラで映しながら発表画面を共有するという形で進行した。</p> <p>質疑応答ではWeb参加者からの発言もあり、会場の演者と画面上の参加者とで受け答えをするという、ハイブリッド開催ならではの場面もあった。</p> <p>ただ、全体的にスムーズな進行が行えたとは言えず、まだまだ運営サイドの慣れが必要と感じた。</p>

報告年月日 : 令和 3 年 8 月 10 日

報告者・役氏名:

組織部理事 井関 進也

## 事業報告書

事業部局・責任者	組織部 大崎 博之
事業名	第38回西播地区研究発表会
企画担当者	菊口 圭介
運営責任者	大崎 博之
開催日時	令和3年7月25日 10:00-12:40
開催場所	現地開催(あすかホール)とZoomによるハイブリッド形式
内容	<p>総合司会 姫路聖マリア病院 土手 綾子</p> <p>9:30 ~ 10:00 検温 (会場参加の方)</p> <p>9:55 ~ 10:00 団リエンターション</p> <p>10:00 ~ 10:05 開会の挨拶 小国 病院 田中 友美</p> <p>10:05 ~ 10:10 (公社)兵庫技会長挨拶</p> <p>10:15 ~ 12:25 一般演題 (10題)</p> <p>1「医師会における新型コロナ遺伝子検査の取り組み」 宮田 瑞規 (姫路市医師会)</p> <p>2「SARS-Cov2/PCR検査の出検状況と陽性率について」 井川 瑛美 ((株)兵庫県臨床検査研究所)</p> <p>3「新型コロナウイルス抗体検査について」 不二 健太 (姫路市医師会)</p> <p>4「当院におけるコロナ感染対策」 森 隆 (姫路中央病院)</p> <p>5「新型コロナウイルス感染対策に関するアンケート調査報告」 佐竹 郁哉 (組織部 西播地区)</p> <p>6「当院におけるTQM活動について～エコー室の患者待ち時間減少を目指して～」 大西 由希子 (姫路赤十字病院)</p> <p>7「胸水中に出現したLE細胞がSLE診断の一助となった症例」 長井 美和 (公立宍粟総合病院)</p> <p>8「超音波内視鏡ガイド下穿刺吸引(EUS-FNA)検体で膵腺扁平上皮癌が疑われた一例」 吉見 舞子 (姫路医療センター)</p> <p>9「複数要員における業務での意識向上」 大塚 もも ((株)兵庫県臨床検査研究所)</p> <p>10「EUS-B-FNAにて診断されたhCG産生縦隔型肺癌の一例」 山田 寛 (姫路医療センター)</p> <p>12:35 ~ 12:40 閉会の挨拶 姫路赤十字病院 山本 繁秀</p>
参加者数	114名(会場43名、Web71名)
実務委員	佐竹、土手、青木、藤田、住ノ江、坂本、竹内、森川、菊口
運営状況・感想意見	<p>西播地区で初の試みとなる、会場(あすかホール)とWeb(Zoom)のハイブリッド形式での開催となった。会場参加者は西播地区役員・発表者・共同演者含む同施設の方数名・座長・当番病院スタッフに限定し、手指消毒・検温・十分な間隔を保ち、感染対策を徹底した。会終了後、体温などを記載した参加者名簿を作成し会場へ提出した。Web参加者は、Zoomに100名というアクセス制限があるため、JAMTにて事前登録制で先着順とした。自施設の会議室等で複数人での受講をお願いした。参加者は例年と比べ114名と少なかった。原因として会場参加とWeb参加が制限されていた事が考えられる。Web申込みが定員になってから、数名から申込み出来ないかという問合せがあった。遠方で会場まで来にくいという方でも参加出来るというメリットがあるので、人数制限が無ければもう少し参加者が増えたのではないかとと思われる。</p> <p>会の運用に関しては、発表者は従来通りの口演形式とし、同時にWebカメラでZoomに同時配信した。最初にZoom配信するためのPCをWi-Fiに接続する際に、1台は繋がったが他2台が接続出来なかったり、途中通信が不安定になったりとトラブルがあったが、ほぼ時間通り終えることができたので良かったと思われる。今後の課題として、通信環境の改善とZoomの人数制限が挙げられる。</p>

報告年月日 : 令和3年8月9日

報告者・役氏名:

組織部理事 菊口 圭介

## 事業報告書

事業部局・責任者	組織部 大崎 博之
事業名	第1回東播地区ナイトセミナー
企画担当者	森 雅彦
運営責任者	森 雅彦
開催日時	令和 3年 7月 28日 18時30分～20時00分
開催場所	Web
内容 プログラム テーマ	①新型コロナウイルスについて ～最新のアップデート～ ②新型コロナウイルスRNA検出について
講師	①シスメックス株式会社 免疫事業推進部 足立 政明 氏 ②栄研化学株式会社 マーケティング推進室 小岩井 成貴 氏
司会者等 座長	森 雅彦 森 雅彦
参加者数	92名
実務委員	5名(森 雅彦、桃井裕亮、中谷三穂、山中奈央、横田隼一郎)
運営状況・感想 意見	Zoomの記録上は92名の参加 事前申し込み(JAMTS:81名、Peatix:47名(内Peatixのみ登録8名、 賛助:8名) うち1名は他臨技会員(大阪) 申込無し参加:3名 参加確認が取れた者:89名  Web開催であったため他地区や他臨技からの参加があった。 内容は新型コロナウイルスの情報をアップデートしたことで知識の整理 ができた様子であり、参加者で共有できたのは大きな意義があっ たと思われる。また病原体核酸検査が多くの施設で実施されるよう になり、LAMP法を中心に解説していただいたことで核酸検査の仕組 みから結果の解釈まで知識の整理ができた。

報告年月日 : 令和 3年 7月 29日

報告者・役氏名:

東播地区理事:森 雅彦

## 令和3年度 事業計画(案)

令和 3年 8月 14日

公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会  
会 長 真田 浩一 様

担当役職名:組織部理事(東播地区)

担当者氏名:森 雅彦

下記のとおり令和3年度事業計画案を提出いたします。

### 記

#### 第 30 回東播地区研究発表会

日 時	令和 3年 12月 18日(土) 10時 00分～12時 00分
場 所	Web 開催 (ハイブリッド開催を含め検討)
内 容	特別講演 未定 演題発表 5 演題程度を予定